

各地区業況アンケート結果（28年7月調査分）

（28年7月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

7月22日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ71名の回答があり（回答率47.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上に企業格差出てくる

問1】貴社の6月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	12	7	28	10	14	71	59
比率	17%	10%	39%	14%	20%	DI-10	DI-41
売上金額/前年同月比	9	3	32	10	17	71	59
比率	13%	4%	45%	14%	24%	DI-32	DI-47

2. 低調な販売続く

問2】貴社の営業窓口から見て7月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	4	28	13	4	50	-30	-36
民間建設向	3	6	32	13	2	56	-9	-2
自動車向		4	25	4	1	34	-6	-15
その他需要家向	3	4	42	12	1	62	-6	-11
仲間取引	1	6	35	12	5	59	-24	-25
計	8	24	162	54	13	261	-15	-17
比率	3%	9%	62%	21%	5%			

3. 収益回復、6割弱が黒字

問3】貴社の6月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	15	26	21	6	2	70	59
比率	21%	37%	30%	9%	3%	DI+66	DI+15

4. 秋需にわずかな期待

問4】貴社における向う8月から10月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	36	29	3	1	70	59
比率	2%	51%	41%	4%	2%	DI +47	DI +54

5. いまだ過剰感払拭できず

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	品種別	A	B	C	D	E		7月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-39	-42	-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	-13	-28	鉄筋用丸鋼	2		17	10	2	31	-32
-14	-27	-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	-21	-23	構造用丸鋼		1	27	6		34	-15
-22	-13	-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	-11	-21	平角鋼		2	28	6		36	-11
-25	-27	-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	-7	-16	H形鋼		1	30	4		35	-9
-14	-27	-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	-26	-38	コラム		2	17	7		26	-19
-26	-23	-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	-12	-19	小形山形鋼		1	34	5		40	-10
-23	-26	-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	-15	-22	中形山形鋼		1	33	8		42	-17
-16	-29	-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	-21	-29	溝形鋼		1	31	6	1	39	-18
-33	-23	-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	-64	-36	軽量形鋼C形			26	5	1	32	-22
-27	-18	-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	-32	-33	軽量形鋼広巾		1	19	3	1	24	-17
-48	-56	-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	-41	-55	冷延薄板			18	11	1	30	-43
-52	-62	-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	-35	-40	熱延薄板			25	11	1	37	-35
-56	-67	-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	-46	-50	表面処理鋼板			16	15	1	32	-53
-56	-67	-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	-45	-48	酸洗鋼板			17	13	1	31	-48
-56	-45	-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	-32	-30	中板		2	26	11		39	-23
-39	-39	-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	-27	-16	厚板		3	25	11		39	-21
-11	-10	-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	-11	-11	極厚板		3	16	4		23	-4
-15	-23	-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	-30	-11	縞板			27	5	1	33	-21
-22	-37	-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	-32	-28	中径角		1	28	9	1	39	-26
-19	-19	-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	-25	-33	ガス管黒		1	27	9	1	38	-26
-23	-25	-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	-27	-23	構造用鋼管			25	9	1	35	-31
-31	-34	-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	-28	-28	計	2	20	512	168	13	715	-24

6. 需要低迷続き、価格転嫁は困難

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	6月の棒鋼メーカーの出荷は多かった。メーカー在庫はともにもタイトな状況により、スクラップ価格に連動されず、価格維持となっている。
	B	予定された案件が動き出すと予想される。メーカー値上げ玉が入荷され唱えアップのPRを行っているが、メーカー販価の据置き、スクラップ下落などの不安定要素が強く、様子見状態である。
東北	A	全般的に忙しくない。6月後半から一次加工が忙しくなってきた。価格は厳しい状況である。
	B	7月に入り、鉄筋は新規引合いなし。契約もゼロに近い。市況はスクラップ同様、ジリ安の気配だが、物件もなく商談も成立しない為、目立った動きはない。
	C	動きは悪いが、先物物件はありそうだ。いつまでも震災需要があるわけではない。
	D	特に大きな変化もなく低調。景気対策の政策に期待したい。
新潟	A	メーカーは強気だが、市中は需要が低迷しており、思うように価格転嫁できるかどうか心配である。
	B	まだ、需要は多くないが、最悪期からは少しずつ回復している。オリンピック関連需要がいつ出てくるのか。秋には実感できると良いのだが。
	C	空調、建築金物、自動車は需要増傾向。産機は輸出が伸び悩み低調である。秋需に期待。Hグレードファブは首都圏案件中心に1年程の山積みを確認しているが、足元は工程のずれ等で山谷が激しい。Mグレードファブは2ヶ月程度の山積み。地場案件は少なく、仕事量を確保するため関東案件の受注に奔走している。一般製造業者は業種によって濃淡がある。全体的に仕事量が少なく、赤字覚悟で量確保に必死である。価格はメーカーの店売り値上げ発表があり、今の需要低調状態からユーザーへの価格転嫁にはかなり時間を要す。
	D	荷動きは低レベルで横ばい。薄板値上げのアナウンスもあるが、販売価格にのせられる状況になく、価格を下げてても売れない。現状、我慢、様子伺いである。
	E	荷動き、価格は低位安定。
	F	6月も上向きの傾向は見られず。単価も上げたいところだが横ばい又はケースバイケース。業界でも信用不安あり。
川口		単価の下落、販売数量の激減が重なり、売上金額も下がっている。末端のエンドユーザーと直結している関係で相場の動きも遅れている。売上減だが、利益はほぼ横ばいで微増になった。売上減の企業が多いにも関わらず、信用不安の話はあまり聞かない。
神奈川		至近で若干の荷動きはあるが、一部の業種を除き総じて低調な環境は変わらない。
東京	A	ほとんどの品種において、荷動きの低迷が続いている。価格転嫁の不調に終り、需要が出てこない限り、厳しい状況が続くそう。
	B	市況は落ちついているが、需要の回復は感じられない。また、今の市況レベルは下がり過ぎて、苦しい状況が続いている。

東京	C	メーカーは店売り向けに対し値上げを実行されているが、足並みが揃わず苦慮している。先行きに不安を感じる。
	D	冷延、表面処理の引合いがかなり少なくなっている。
	E	需要低迷の中、値上げに向け動いているが苦勞している。
	F	(棒鋼) 荷動きは低調。流通は競合により低口銭である。適正口銭にするために協調が必要である。メーカーの在庫適正化、10トン以下の小口対応はしないでほしい。流通も小売りで新しい価値をつけるなど、ポジションにより工夫が必要である。
	G	(厚中板) 4～6月期に続き7～9月期も好転の兆しなし。
	H	建築、自動車、電機の3本柱とも低位安定。大手電機メーカーは不祥事の煽りで今期3月まで50%操業。その協力会社は材料使用量が従前の30%。信用調査をすれば債務超過。期待を寄せるオリンピック需要も出てこず、かろうじて公共投資、土木関連の金物に動きが見られる。100万円程度の物件見積りに気を失いそうな単価が出てきて、闘争心はますますなくなる今日この頃。
静岡	A	需要が盛り上らない中、輸入材の影響もあり、在庫増も相まって厳しい状況が続いている。公共工事の発注は増えているが、本格的に動き出すのは下期になりそう。設備投資計画は前年並みだが円高、新興国経済の停滞で延期を含め不透明である。
	B	通常でない気象状況が続き、ユーザーにも影響が出ている。市況は惨憺たる状況。鉄骨関係への供給が安定した流通のみ良好である。Mグレード以下のファブでは地元ゼネコンの受注コンペに巻き込まれている。地場のゼネコン物件は競合が激しい。物件成約までの厳しさは材料購入、特に単価依頼となる。下期、需要増を期待しているのはメーカーとヒモ付き関係者だけではないか。4億円以上の負債を抱えて老舗工務店が破綻した。不思議とざわつきがない。何故だろう。
	C	建築物件は地場ゼネコンの中でも山積みの高低がはっきりしてきた。従ってファブによって仕事量の差が出始めている。メーカーの値上げは全く転嫁できそうにない。
石川		北陸新幹線効果で好調である。ホテル、土産物店、飲食店、老人向け住宅など、住み易さを求めて金沢近郊の物件計画もあり、人が集中しつつある傾向。6年後に北陸新幹線が福井県にも開通する。古い歴史のある街が多いので上手くストーリーを作ってほしい。そうすれば金沢と同じ位に新幹線効果が出るのではないか。
富山		電話の鳴りが悪い。低空飛行が続く。客先の信用問題が気になる。
福井		土木は北陸新幹線の工事が中心である。今年度中に駅舎以外の工区が発注される見通しだが、用地買収の進み具合が悪く、工事開始が遅れ気味である。弊社は受注済み案件のデリバリーが8月から始まるため鉄筋の出荷が見込める。建設は民間の工場、ホームセンター等の店舗が出件されている。S造が多く鉄筋の出荷はそれほどではないが、鉄骨加工をしている。ファブは忙しくなると思われる。
愛知	A	相変わらず、斑模様が続いている。と言っても良いところは少ない。去年は配電盤関係など好調分野が多くあったが、今年は低調分野が多いようだ。サミットが無事終り、参院選も与党が勝ち、これから期待感膨らむ。この地区は自動車関係に頼る部分が多いが、不祥事、事故の件も落ち着き、減った分を取り戻すべく増産し現在、安定している。あとは、自動車以外の動向にかかっている。
	B	他地区からの売込み、乱売が目にする状況となっている。採算割れで売込みをするのは不当ダンピングではないか。非常に深刻な問題として愛知県では捉えている。

愛知	C	当地区のパイプの荷動きは良くない。店売りは5月まで悪く、6月下旬になり、メーカーの値上げアナウンスの影響で小口当用買いの売上が少し増えた。家具はオフシーズンでバラツキはあるが全体的に低調。車関係はもう少し増えると期待していたが、消費意欲に乏しく横ばい及び微減のメーカーもある。相変わらず安売り業者に困っている。
	D	地域の自動車関連企業は遅れを回復しており、稼動が上がっている。研究開発（自動運転、環境対策）に向けた設備投資の意欲も高い。緩やかな好循環が続くことを希望したい。英国進出企業は、欧州他都市へ移転の検討も始めている。
大阪		目立った大型物件はないものの、中小物件を中心にやや動きが出てきている。特に戸建て住宅、相続税対策の賃貸アパート、宅地造成などの分野で動きが出てきたが消費税の増税延期により、勢いが息切れしないか不安な部分もある。一方、公共工事は相変わらず、さっぱりと言った状況が続いている。
岐阜		ゼネコン、ユーザーの物件が一部出始めているが、まだまだ安定的ではない。荷動きも物量が少なく、まだ先行きが不透明な状況が続いている。価格面の安価対応の深刻化を懸念している。
広島		変わらず低調。選挙、円高と悪影響を及ぼす要因も多く、しばらく回復を見込めない雰囲気となっている。供給過多による販売競争激化から市況の悪化、収益悪化の悪循環にならないよう小さな商売をしっかりとコツコツ積み上げていくしかない。
岡山		市況はジリ安で品種によっては突っ込み過ぎており、先物契約も成約不調となっている。荷動きは最悪期を脱したものの、地場案件も少なく冴えない日が続く。
香川		条鋼類はメーカー値上げを転嫁できず厳しい状況である。荷動きは上向かず8月も期待薄。秋以降に期待。
北九州		6月に比べ日当り出荷は低下しているが、7～8月の物件の引合いが出てきた。2、3次店向けの在庫補充は低調で、当用買い中心である。販価は受注優先のため、競合が厳しく足並みは揃っていない。5月以降の契約品の入荷で採算は悪化している。
福岡		4月は熊本の震災があり、その影響と5月連休が重なり動きが悪かった。6月に入ってから見積り、引合いが多くなり忙しくなった。特装車の排ガス規制問題で1年以上の受注を確保している。また、震災関連の動きで、今までのブラケットでは対応できないため新しいブラケット、他商品等の注文の動きもある。7月は多品種、短納期注文が多くなりそうである。与信的なものは聞こえてこないが周りとは情報交換し、しっかり管理していきたい。